

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		人間発達学部
科目名称 [英語名称]	現代人のこころ [Study on Mind of Contemporary Humans]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	750014	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1-4年次
教員氏名	神垣 彬子			学位授与の方針 との関連			
授業概要	心理学の観点からみた、子どもや子どもを取り巻く社会全体の実態の理解を目的とする。問題発生の察知・把握、教師として行うべき援助、保護者への支援と協力関係、外部専門家の活用と協働、カウンセリングの手法について具体的なケースを考えながら学ぶ。						
関連する科目	教育心理学、発達心理学、発達心理学1および2、臨床心理学						
授業の進め方と方法	講義は、パワーポイントや講義内容に沿った視聴覚教材を用いて行う場合がある。講義内容によっては、ディスカッションやロールプレイを用いて学びを深める場合がある。						
授業計画	<p>第1回:心理学を学ぶための心構え 心理学は社会科学の一つであり、科学的視点を持って臨むことが求められる学問である、ということについて学ぶ。</p> <p>第2回:心理学とはなにか①:心理学の歴史</p> <p>第3回:心理学とはなにか②:人間の心の「分析」 心理学の歴史と変遷を学ぶことで学問の性質を知り、人の心を分析することに対する意識のあり方を理解する。</p> <p>第4回:人間の感覚と心理学①:物事の認識</p> <p>第5回:人間の感覚と心理学②:記憶と忘却</p> <p>第6回:人間の感覚と心理学③:知覚と感覚 人間の心が人間の感覚に影響していることを、心理学の理論を通して学ぶ。</p> <p>第7回:人間の成長と心理学①:乳幼児期の発達</p> <p>第8回:人間の成長と心理学②:児童期の発達</p> <p>第9回:人間の成長と心理学③:青年期の発達</p> <p>第10回:人間の成長と心理学④:成人期・高齢期の発達 心理学の視点から人間の成長を捉え、各発達段階における人の心の動きの特徴や課題を理解する。</p> <p>第11回:性格や感情と心理学①:性格とはなにか</p> <p>第12回:性格や感情と心理学②:感情とはなにか 心理学の理論を通して、人間の性格や感情を科学的に捉える視点を身に付ける。</p> <p>第13回:社会・人間関係と心理学①:集団心理と人間関係</p> <p>第14回:社会・人間関係と心理学②:社会における心理学</p> <p>第15回:社会・人間関係と心理学③:教室における心理学 社会における人との関係の中で、心理学の理論や技術をいかに活用し豊かな生活を送るのかについて学ぶ。</p>						
授業の到達目標	現代社会では多様な価値観や生活様式が認められており、体系的に心理を学ぶ必要がある。将来携わるであろう、対人スキルや客観的視点が重視される医療・福祉・食品開発の分野で役立つ心理学の知識を習得することを目的とする。【職業知識・技能の育成】						
授業時間外の学修	授業の前後にノートの予習・復習を必ず行い、前後の講義内容との関連性等に着目しながら学びを深める。当日の講義の復習箇所及び次回の講義の予習箇所については、講義終了前に毎回提示する。						
課題に対するフィードバック	最終試験の採点基準および回答のポイントについては、授業内容の振り返りとともに最終講義内で事前に解説する。			評価方法	定期試験(基礎用語の理解と指定評価方法テーマに対する論述問題)100点の結果で評価する。		
テキスト	心理学 鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃 編 東京大学出版会 1996						
参考書	適宜紹介する。						
備考							